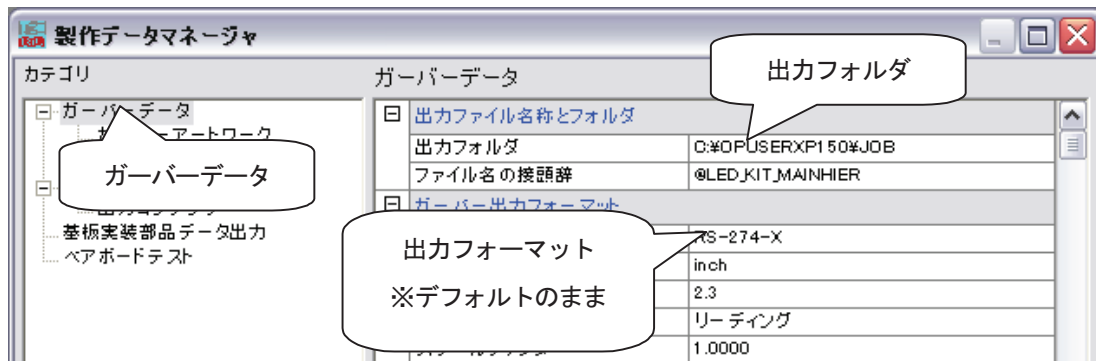


2.0 : ガーバーデータ出力

- データ出力手順を記載します。パターン印刷については [4.0 : プリントアウト](#) を参照下さい。
- 製作マネージャを起動し、『セットアップ』を選択します。
- 『データマネージャ』が表示されます。はじめは『ガーバーデータ』が選択され、出力フォルダ、フォーマット等の設定が表示されています。ここは基本的にデフォルトで出力しますが、必要があれば出力フォルダ等変更を加えます。



- 『ガーバーアートワーク』を選択、『自動選択』をクリックするとプロジェクトで使用しているレイヤーが選択されます。基板外形線をパターンと一緒に出力する場合は『基板外形線 (全体)』にチェックを入れて下さい。(基板加工機にてデータを使用する場合は、必ず『基板外形線 (全体)』にチェックを入れて下さい。チェックを入れない状態だと、基板端に印が打たれるのみになります。)
- 設定を確認し『実行』をクリックします。

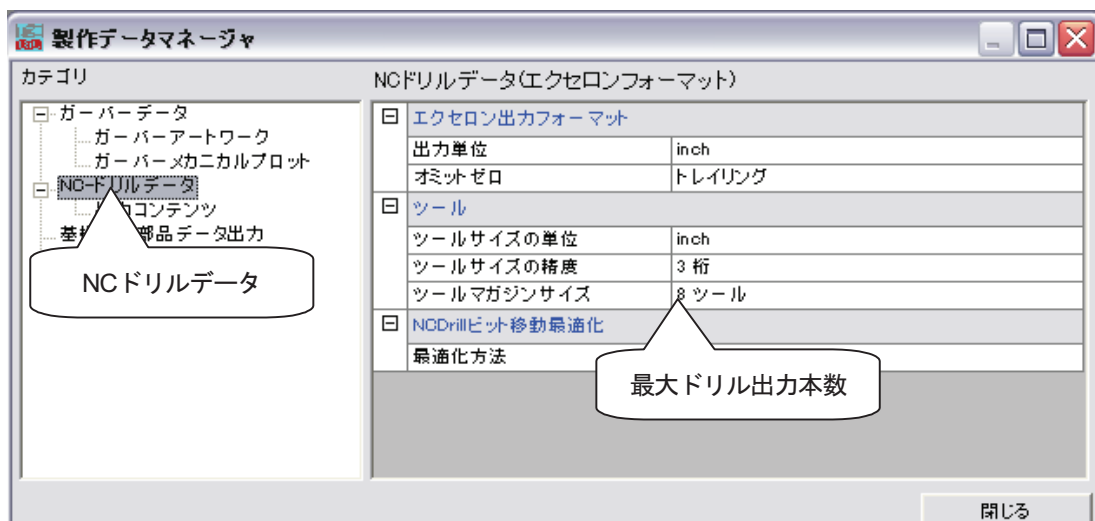


『実行』をクリックすると、ガーバーファイルを出力します。出力完了後、『閉じる』をクリックして出力ダイアログを閉じます。

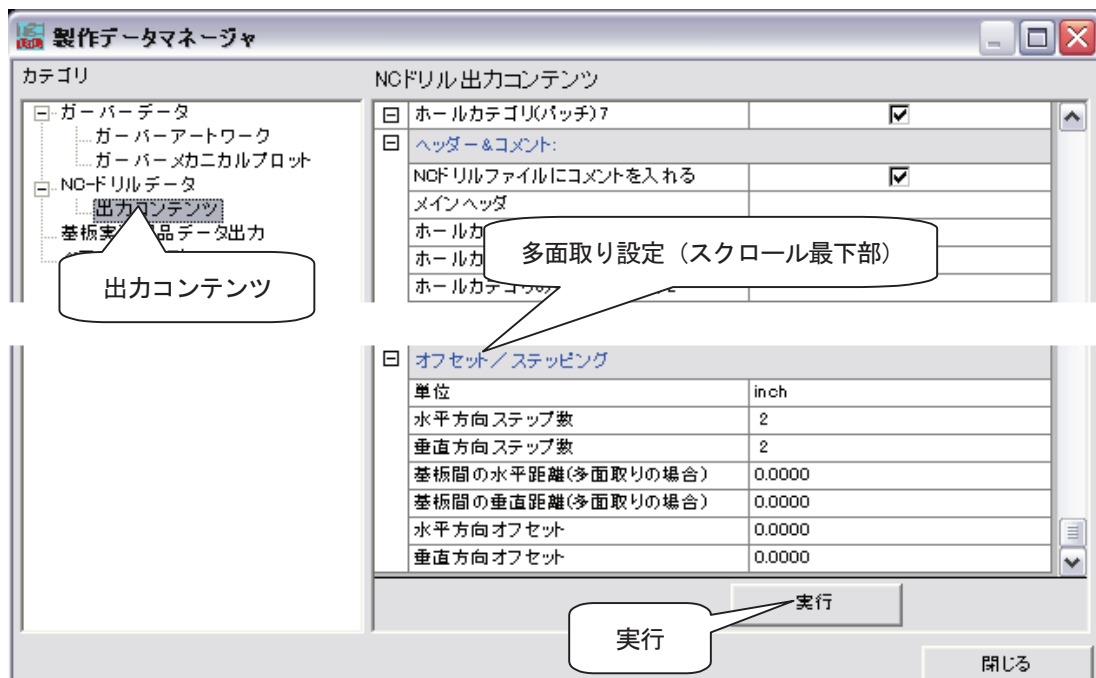


3.0 : NC ドリルデータ出力

- NC ドリルデータ出力手順を記載します。ドリル穴印刷については [4.0 : プリントアウト](#) を参照下さい。
- 『NC ドリルデータ』を選択します。
- 今回はデフォルトで出力しますが、設定を確認して下さい。CAM 等に読み込む、または基板製作会社等にデータを渡す際には、決まった設定で出力する必要があります。毎回変更を加えると、読み込み先でも入力データの設定が必要になり余分な手間と費用が発生します。

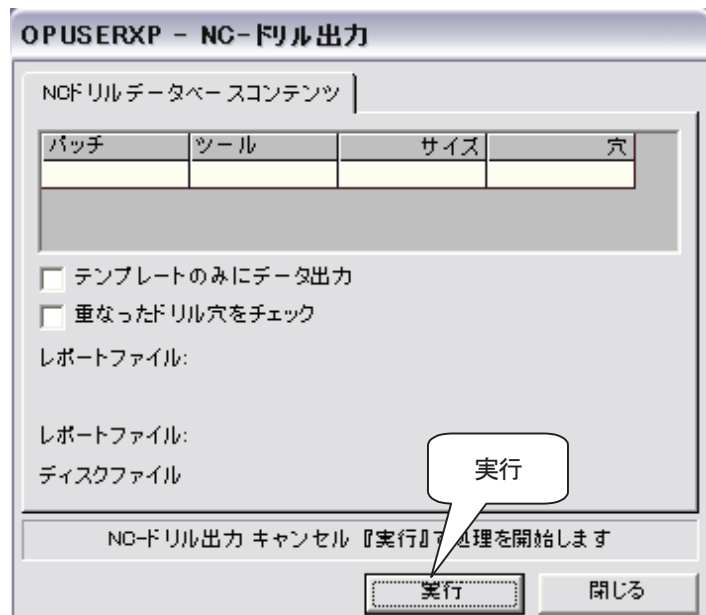


- 『出力コンテンツ』をクリックし『実行』をクリックします。



表示されるダイアログで『実行』をクリックし、保存先を指定します。出力されるファイルは『*.NCD』『*.DJR』ドリルデータを他のソフトで使用するには両方必要です。

出力後、『閉じる』でダイアログを閉じます。



- データ出力が終了した後は、『製作データマネージャ』は必要ありませんので閉じて下さい。